

# 音楽研究委員会

## 1 研究テーマ

表現する楽しさを味わえる音楽学習  
～ペア学習を取り入れた学習指導～

## 2 研究内容

研究授業実施日	平成 21 年 11 月 18 日 (水)
題 材 名	「聴いている人に自分の表現を伝えよう」
教 材 名	『くしゃみザウルス』『走れメロス』
指 導 者	杉山 由一先生 (七二会中学校 校長)
授 業 者	駒村 京子教諭 (高甫小学校)
授 業 学 級	高甫小学校 5 年和組

子どもたちが表現する楽しさを感じる時とは、どんな時なのだろうか。また、子どもたちは、どんなことを音楽の授業に望み、期待しているのだろうか。高甫小学校の5年生は、SBC コンクールに出場し、一次審査に通過することができなかった。その原因について子どもたちに聴いてみると、「一生懸命歌っても聴いている人に自分たちの気持ちが伝えられないのではないか」と感じていることがわかった。そこで、聴いている人に伝えられる音とはどんな音なのか、研究委員会で話し合ってみた。それは、

- ① 楽曲に対する自分の思いや願いをもつ
- ② それを実現するために表現を工夫し
- ③ 聴いている人に自分の思いが伝わるような表現をする

以上の3点を実現することができたら、歌うことなど音で表現することが楽しくなるのではないかと考えた。特に、本時に関しては、3番目の聴いている人に自分の思いが伝わったら、子どもたちも満足し、充実感を味わえるのではないかと思い、そのための手段を探るため、各学校で授業をし、その事例から、ペア学習を取り入れ、学習カードで学ぶ道筋を示していくようにした。

## 3 研究の成果

### (1) 指導の実際

- ① 3番に強弱などの曲想表現の工夫を学習カードに書きこむ場面

3番を歌いながら、fやPなどの強弱記号を書きこんでいった。Rさんは、歌いながら、3番らしく、大きくして終わろうと書きこんでいった。また、Pさんは、堂々を終われるようにフェルマータをつけていた。

